

11 人権に関する考え（問 21～問 22）

11 では、子どもがいるという想定で子どもの結婚相手の属性についてどのように思うかを5段階で尋ねています。また、新型コロナウイルスのような新たな感染症と人権に関する様々な意見についてどの程度そう思うかについても5段階で尋ねています。

問 21（1）～（5） 子どもの結婚相手の属性について

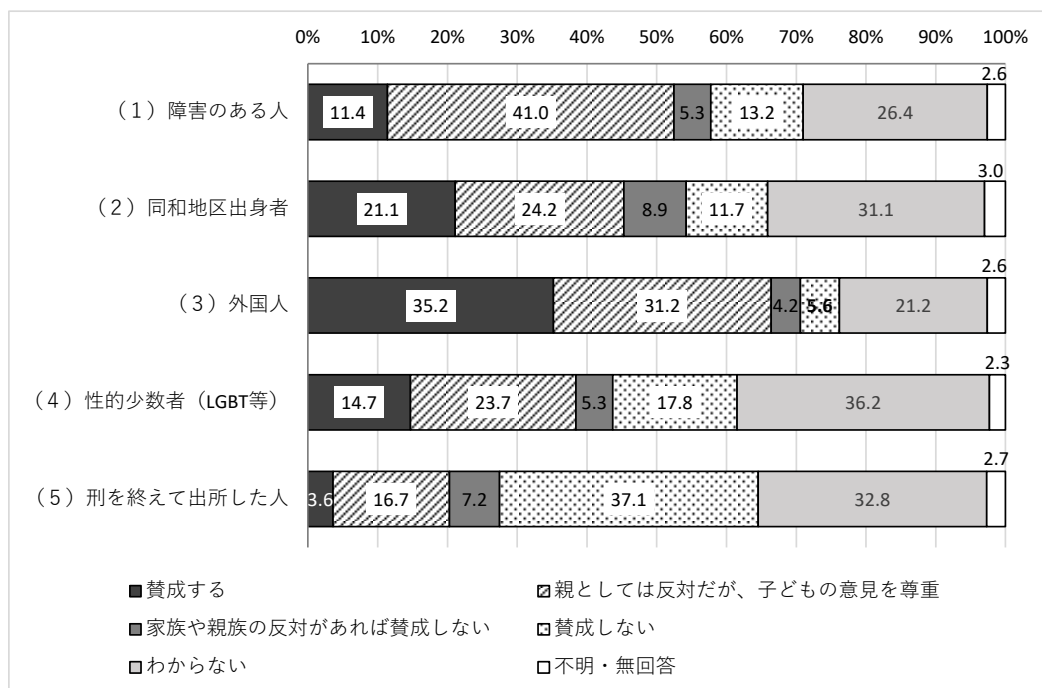
単数回答（N=900）

クロス集計：性別、年齢

単純集計の結果をまとめると図表 11-1 のようになります。「（1）障害のある人」と「（3）外国人」については、「賛成する」と「親としては反対だが子どもの意見を尊重」の合計が 50.0%以上と高くなっています。「賛成する」と「親としては反対だが子どもの意見を尊重」の合計が 50.0%以上となっているものは他になく、賛成する回答者の割合が相対的にも高いと言えます。

一方、「（5）刑を終えて出所した人」については、「家族や親族の反対があれば賛成しない」と「賛成しない」の合計の占める割合が 44.3%であり、賛成しない回答者の割合が相対的にも高いと言えます。また、「（2）同和地区出身者」と「（4）性的少数者（LGBT等）」については「わからない」の割合が最も高いです。

図表 11-1

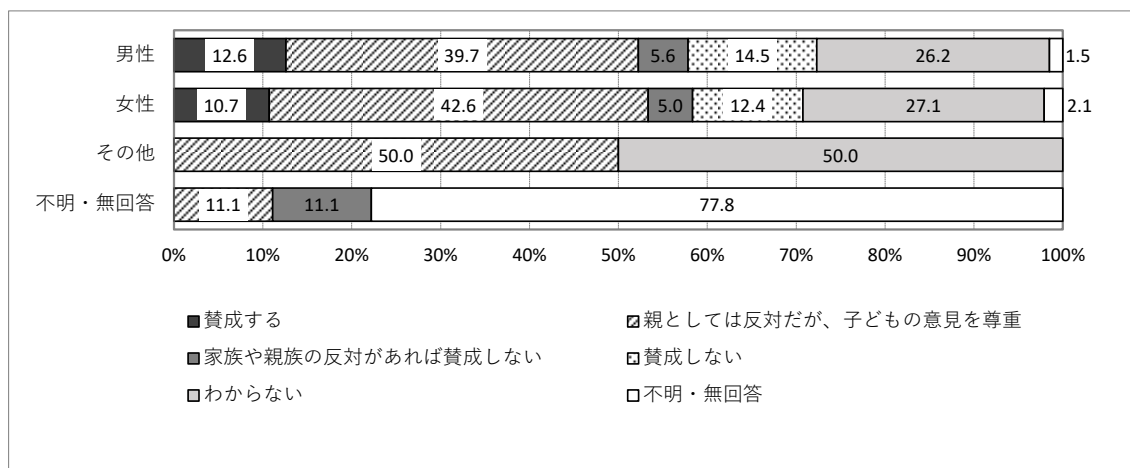


(1) 障害のある人

【性別によるクロス集計】

性別に関わらず全体的な傾向は概ね同じです。(図表 11－2)

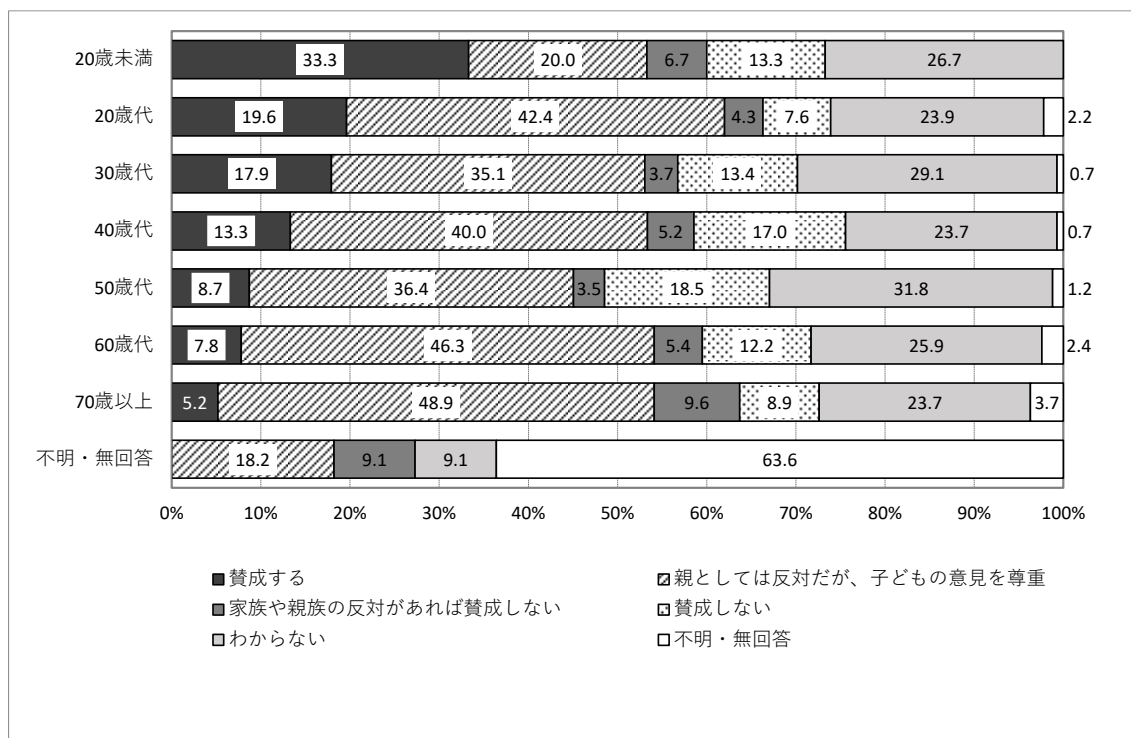
図表 11－2



【年齢によるクロス集計】

年齢に関わらず「親としては反対だが、子どもの意見を尊重」の割合が高いです。ただし、60歳以上では他の年齢よりも相対的に高くなっています。（図表 11－3）

図表 11－3

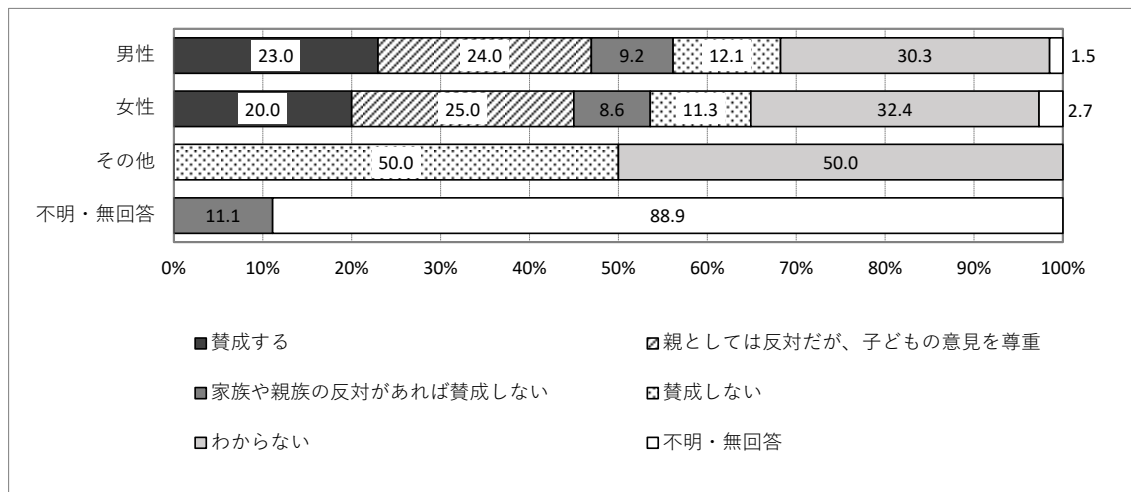


(2) 同和地区出身者

【性別によるクロス集計】

性別に関わらず「わからない」の割合が最も高いです。(図表 11－4)

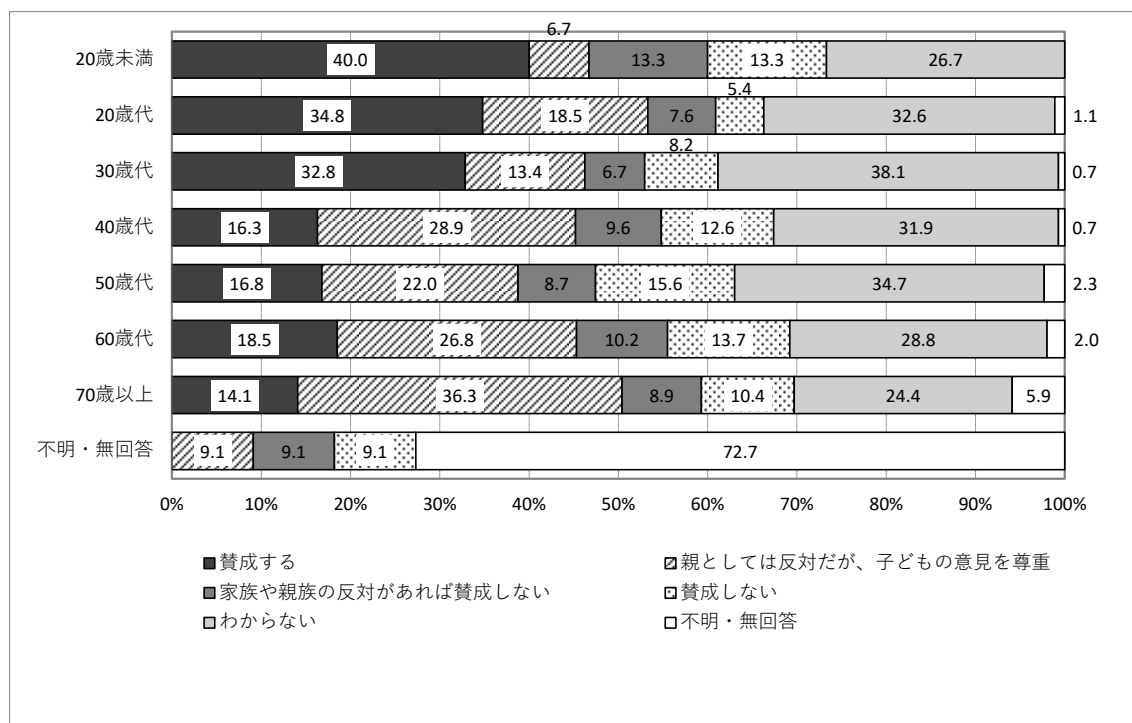
図表 11－4



【年齢によるクロス集計】

年齢に関わらず「わからない」の割合が高いです。一方、「家族や親族の反対があれば賛成しない」と「賛成しない」が占める割合は年齢に関わらず低く、どちらかという
と賛成する傾向にあると言えます。(図表 11－5)

図表 11－5

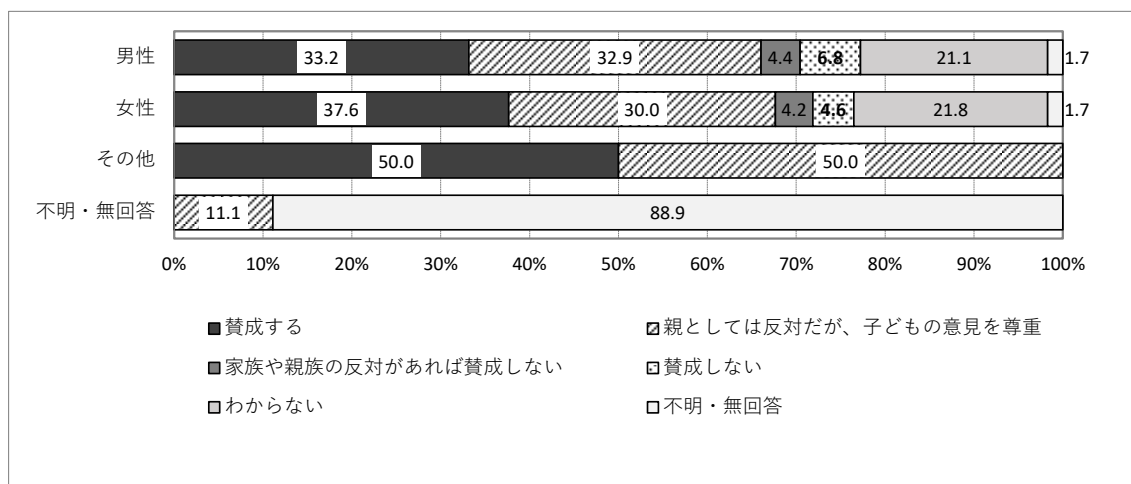


(3) 外国人

【性別によるクロス集計】

性別に関わらず、「賛成する」の割合が最も高いです。また、「賛成する」と「親としては反対だが、子どもの意見を尊重」を合わせると 60% 台後半となっています。(図表 11－6)

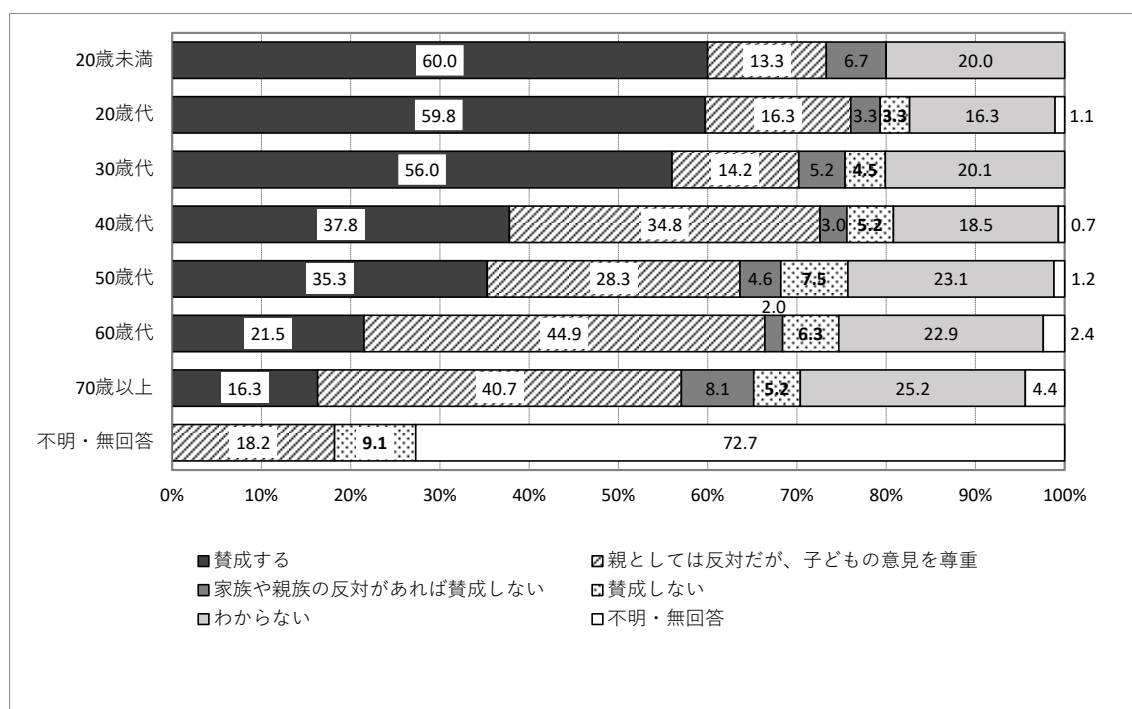
図表 11－6



【年齢によるクロス集計】

若年層から中年層では「賛成する」の割合が高く、中年層から高齢者では「親としては反対だが子どもの意見を尊重」の割合が高いです。「家族や親族の反対があれば賛成しない」と「賛成しない」の割合は年齢に関わらず低いですが、「わからない」が20%前後となっています。（図表 11－7）

図表 11－7

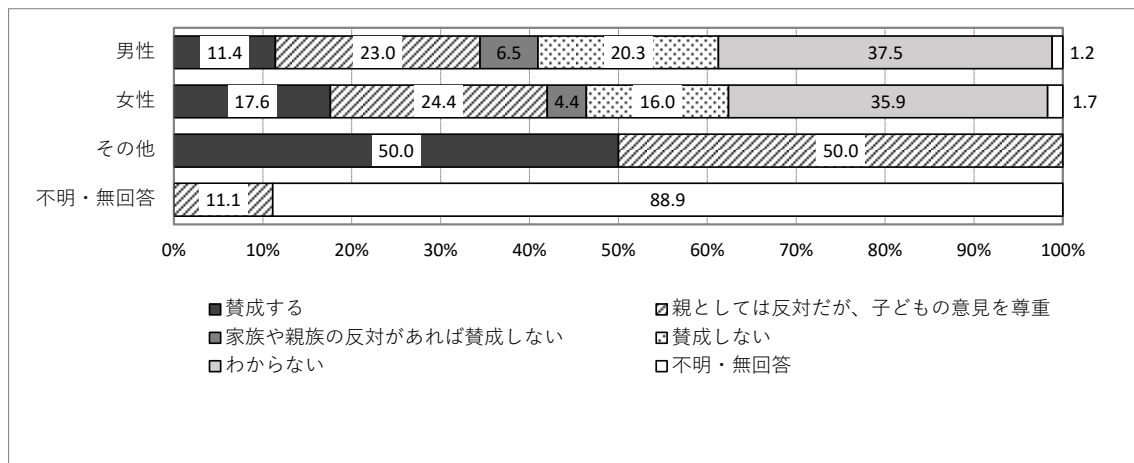


（４）性的少数者（LGBT 等）

【性別によるクロス集計】

性別に関わらず「わからない」の割合が最も高く、次いで「親としては反対だが、子どもの意見を尊重」の割合が高くなっています。一方、「賛成する」と「親としては反対だが子どもの意見を尊重」の合計と、「家族や親族の反対があれば賛成しない」と「賛成しない」の合計を比較すると、男性は両者の差が小さいですが、女性は前者の割合が男性に比べて高いです。（図表 11－８）

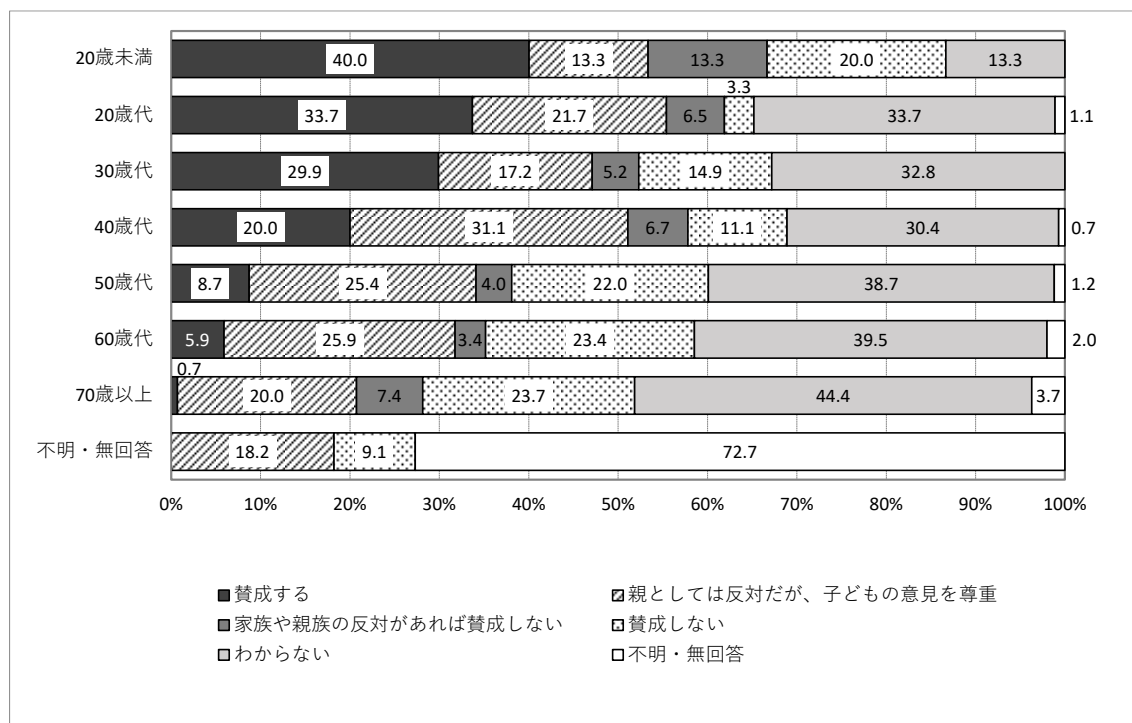
図表 11－８



【年齢によるクロス集計】

若年層から中年層では「賛成する」または「親としては反対だが子どもの意見を尊重」の割合が相対的に高いです。一方、中年層から高齢者では「わからない」の割合が相対的に高いです。（図表 11－9）

図表 11－9

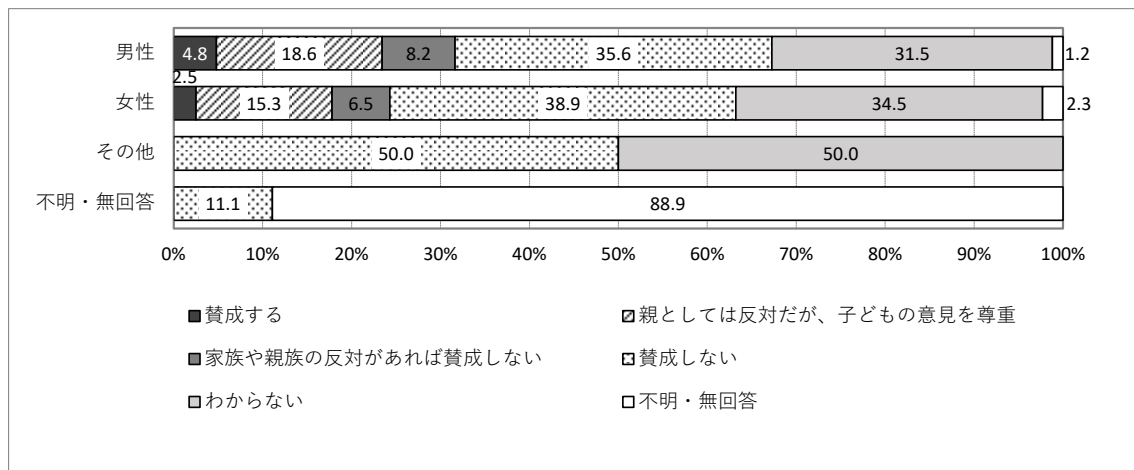


(5) 刑を終えて出所した人

【性別によるクロス集計】

性別に関わらず「賛成しない」と「わからない」の割合が30%台と高いです。(図表11—10)

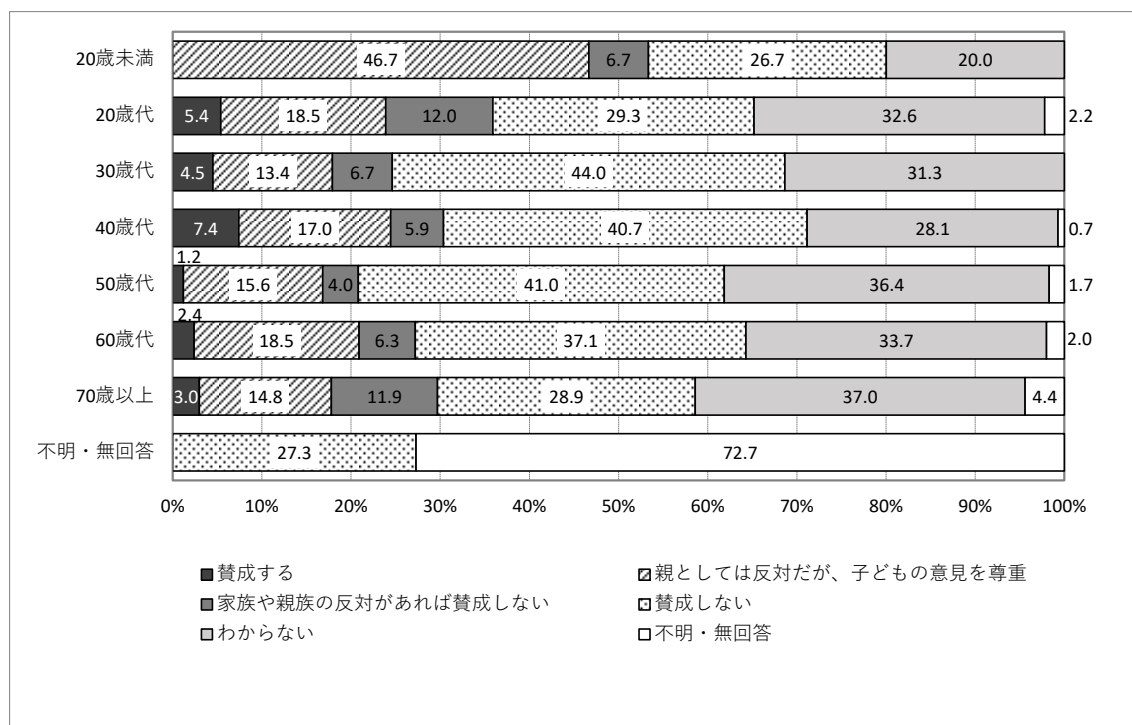
図表 11—10



【年齢によるクロス集計】

30 歳代から 60 歳代では「賛成しない」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、50 歳代と 70 歳以上では「わからない」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表 11—11)

図表 11—11



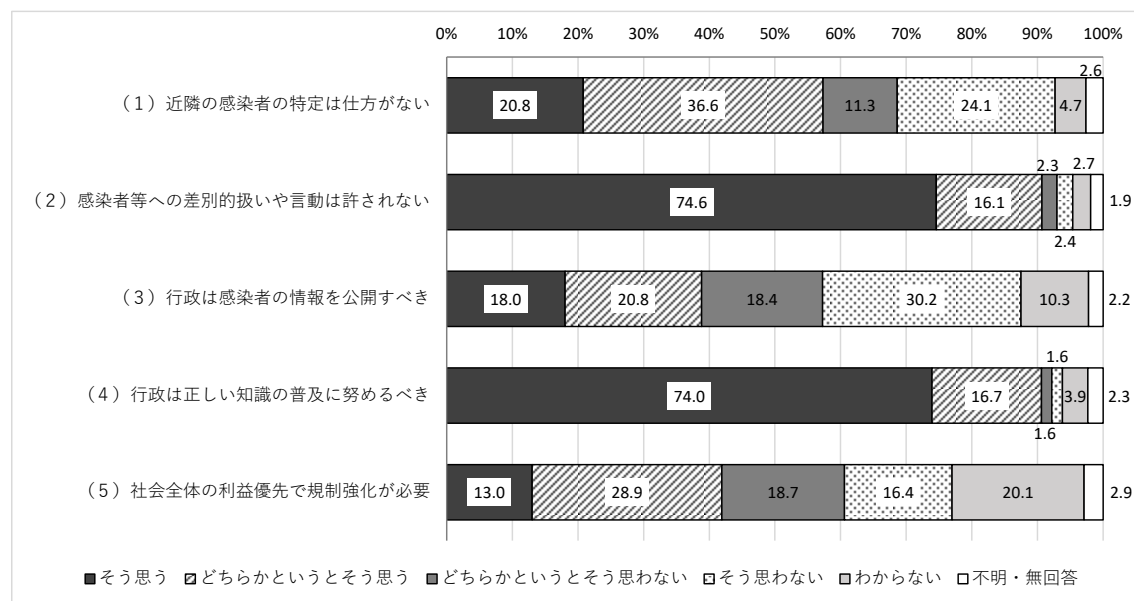
問 22（１）～（５） 新たな感染症に関する意見について

単数回答（N=900）

クロス集計：性別、年齢

単純集計の結果をまとめると図表 11—12 のようになります。「（３）行政は感染者の情報を公開すべき」については「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の合計が占める割合の方が高くなっています。しかし、それ以外については「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計が占める割合の方が高くなっています。特に「（２）感染者等への差別的扱いや言動は許されない」と「（４）行政は正しい知識の普及に努めるべき」については、「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計がそれぞれ 90.7% となっています。また、「わからない」の割合は「（５）社会全体の利益優先で規制強化が必要」を除いて全体的に低くなっています。

図表 11—12

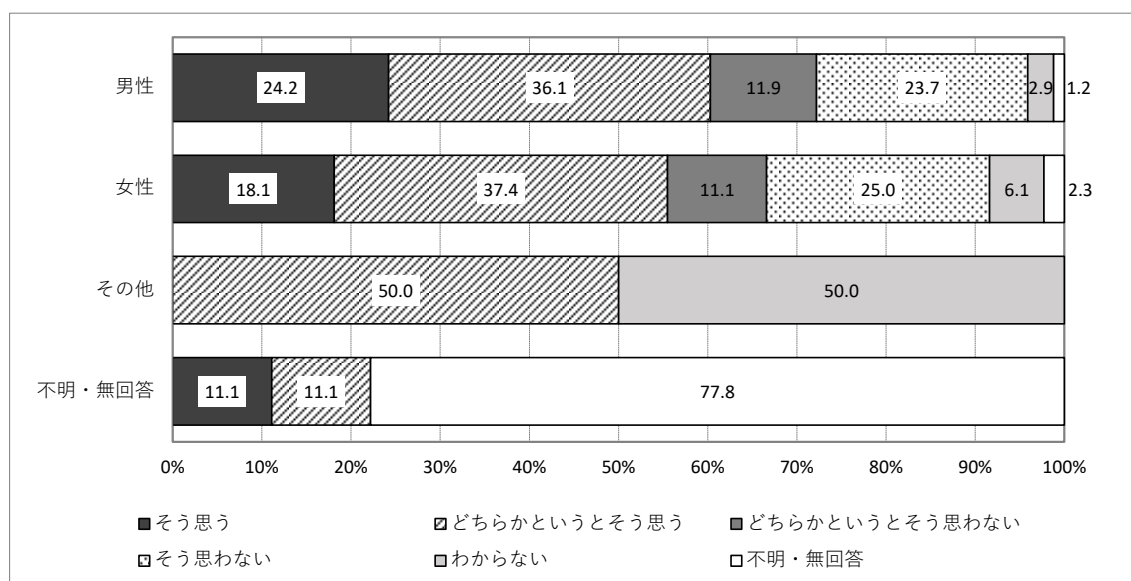


(1) 近隣に感染者が出た場合、感染者を特定しようとするのは仕方がない

【性別によるクロス集計】

性別に関わらず「どちらかというと思う」の割合が高く、「そう思う」と合わせると 55.0%以上となっています。(図表 11—13)

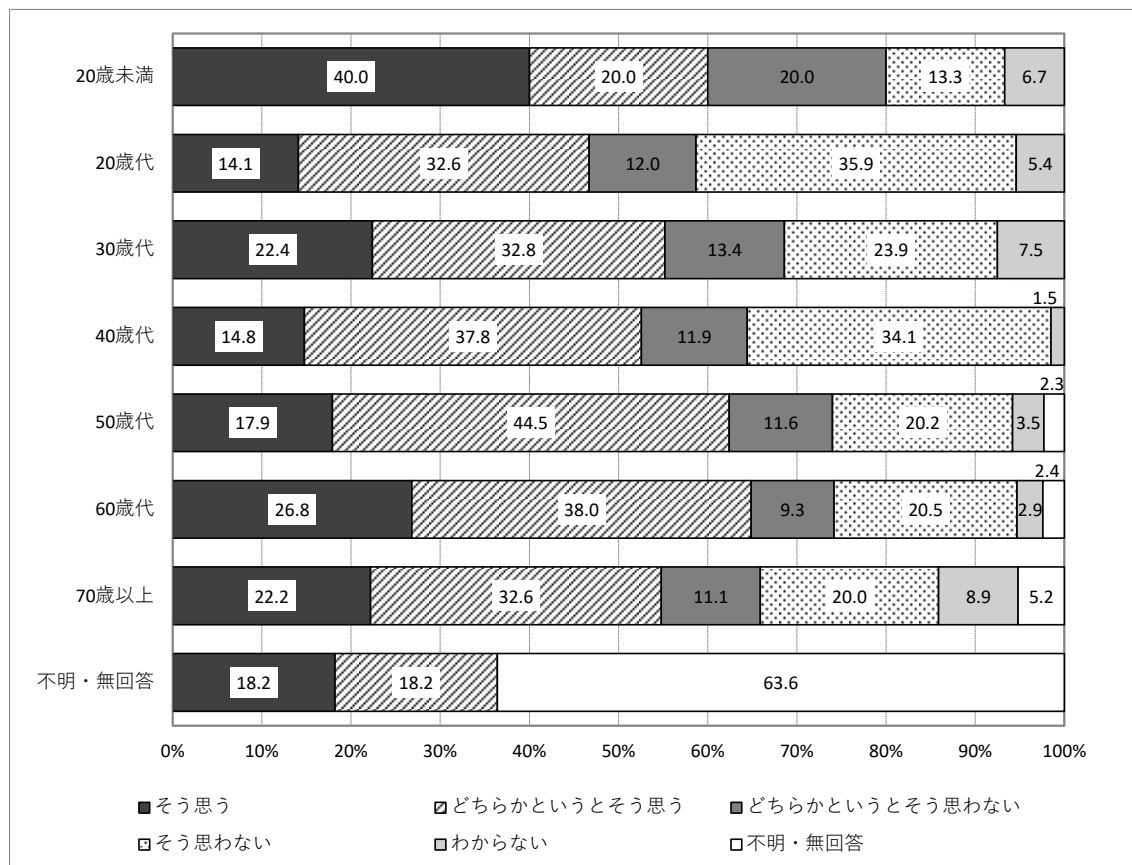
図表 11—13



【年齢によるクロス集計】

50 歳代と 60 歳代では「そう思う」と「どちらかというと思う」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、20 歳代と 40 歳代では「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表 11—14)

図表 11—14

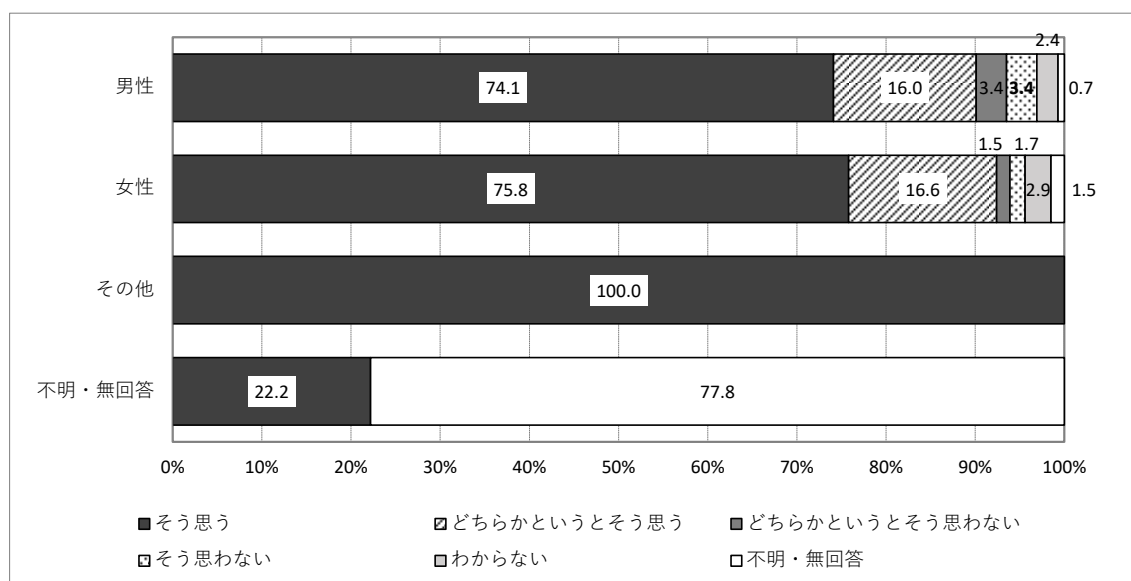


(2) 感染の疑いがある人や感染者の家族への差別的扱いや言動は許されない

【性別によるクロス集計】

性別に関わらず「そう思う」の割合が高いです。「そう思う」と「どちらかというと思う思う」を合わせると 90.0%以上となっています。(図表 11—15)

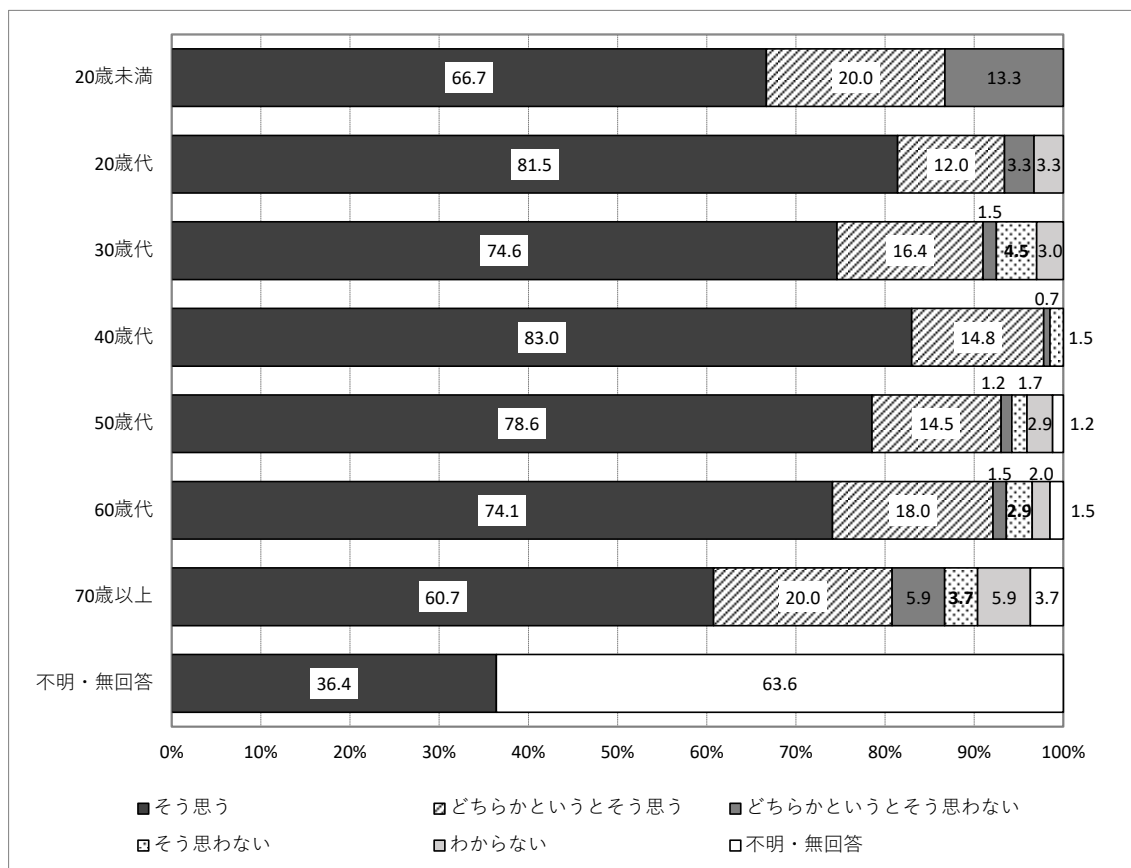
図表 11—15



【年齢によるクロス集計】

年齢に関わらず概ね同じ傾向となっています（図表 11—16）

図表 11—16

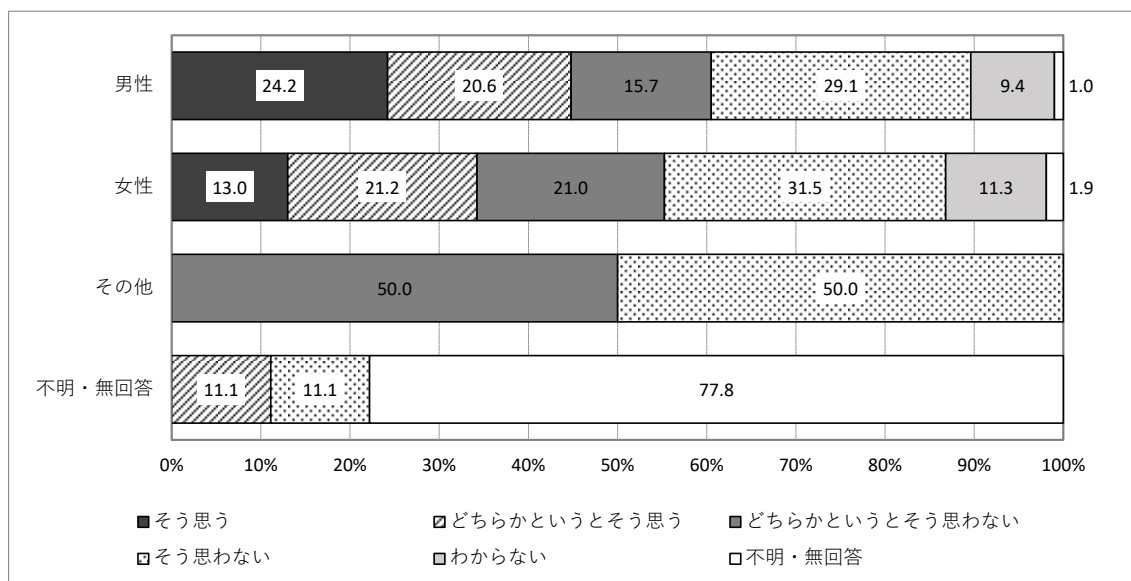


(3) 行政は、感染者の情報を公開するべきだ

【性別によるクロス集計】

性別に関わらず「そう思わない」の割合が最も高いです。一方、男性は「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計と、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の合計が同じになっています。(図表 11—17)

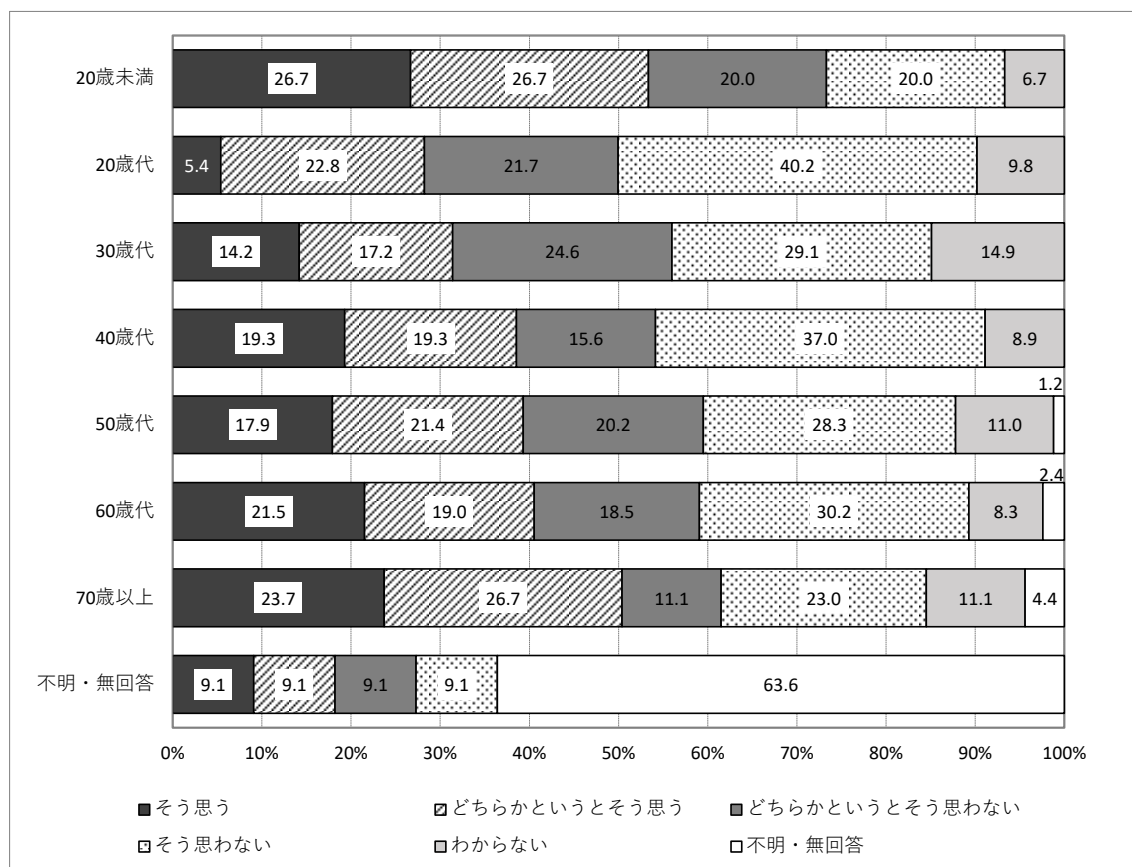
図表 11—17



【年齢によるクロス集計】

年齢が高くなるほど「そう思う」と「どちらかというと思う」の割合が上昇し、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の割合が低下しています。(図表 11—18)

図表 11—18

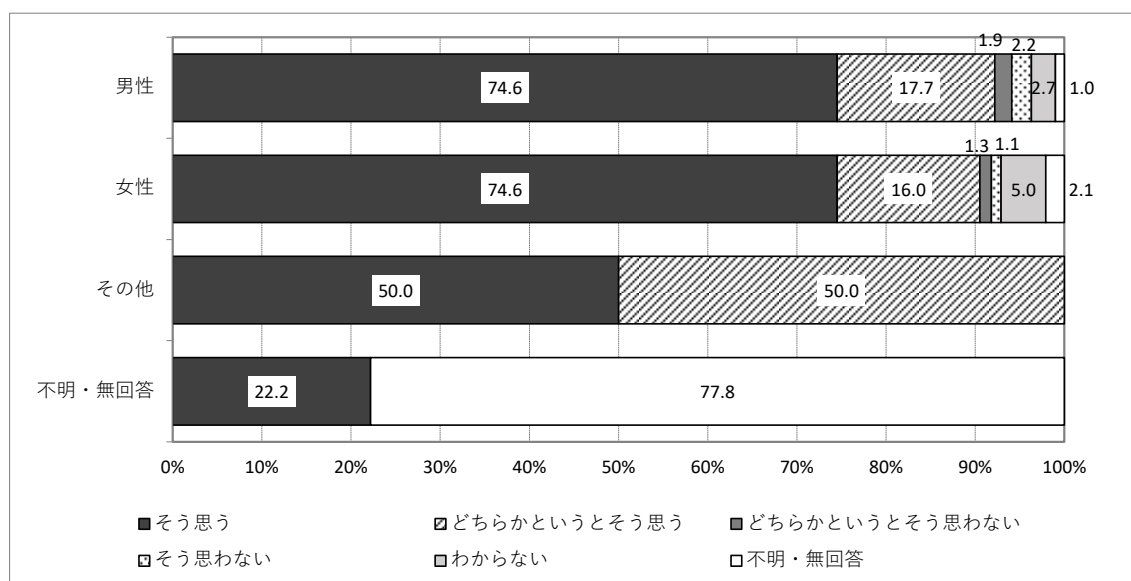


(4) 行政が、感染症に関する正しい知識の普及に努めるべきだ

【性別によるクロス集計】

性別に関わらず「そう思う」の割合が高いです。「そう思う」と「どちらかというと思う思う」を合わせると 90.0%以上となっています。(図表 11—19)

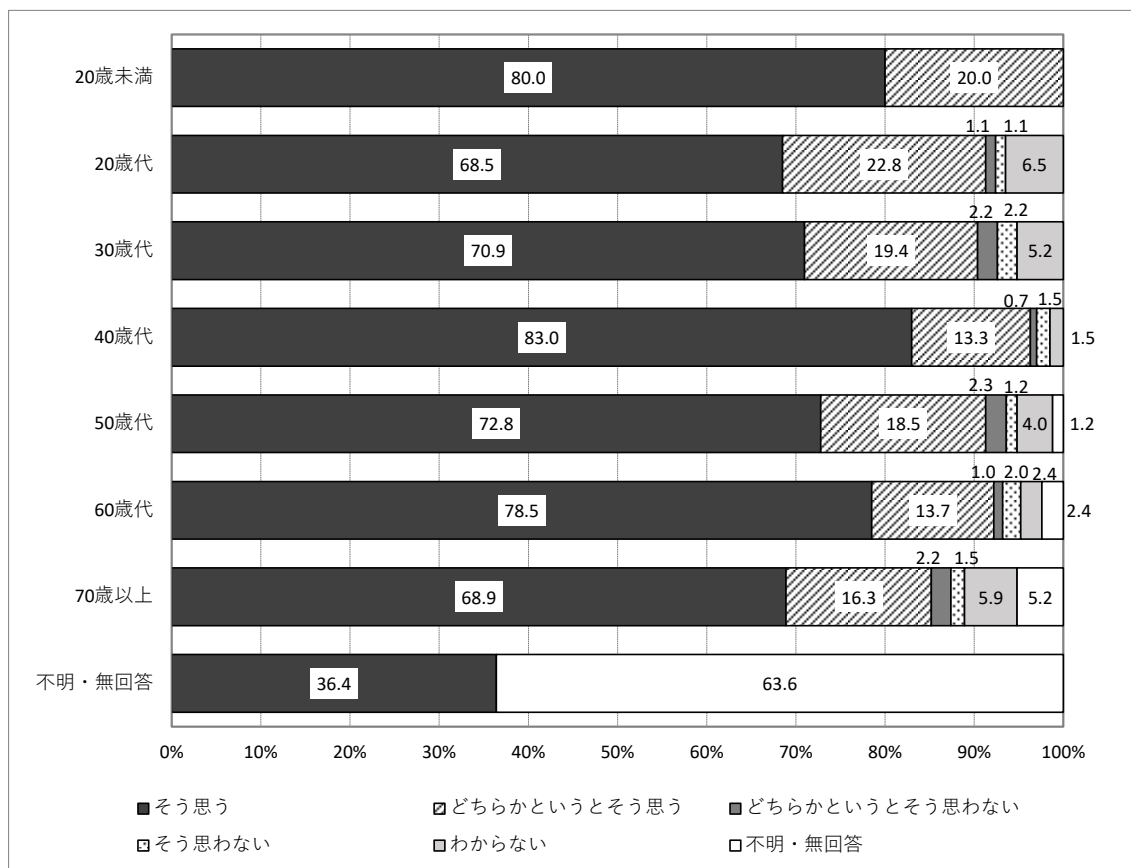
図表 11—19



【年齢によるクロス集計】

年齢に関わらず概ね同じ傾向となっています。(図表 11—20)

図表 11—20

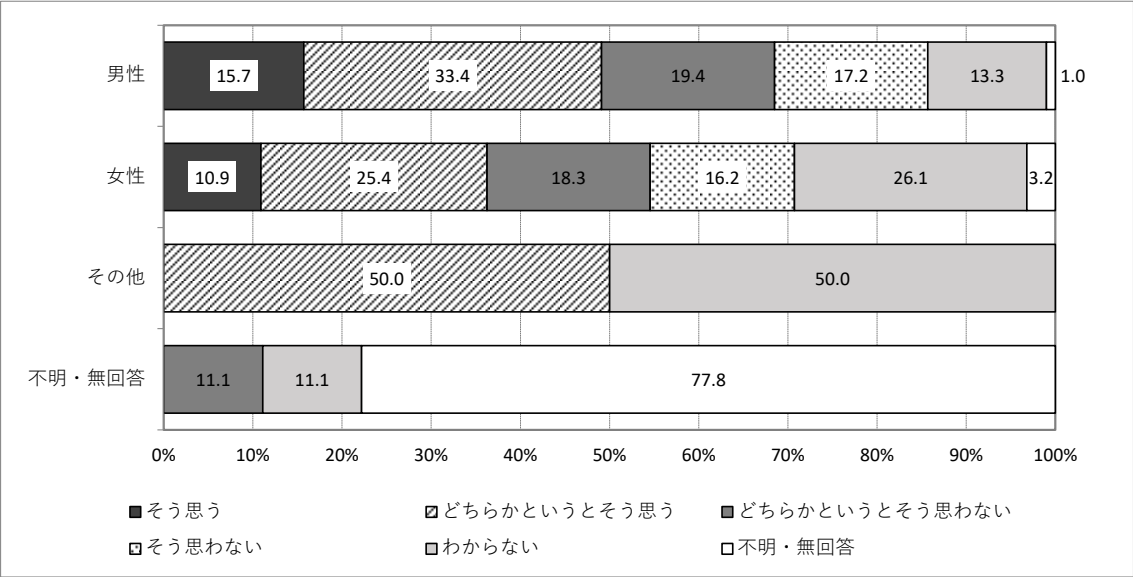


(5) 個人の自由より、社会全体の利益を優先して規制を強くすることが必要だ

【性別によるクロス集計】

男性は「どちらかというと思う」の割合が最も高いです。一方、女性は「わからない」の割合が最も高いです。また、「そう思う」と「どちらかというと思う」の合計と、「どちらかというと思わない」と「そう思わない」の合計の差は男性よりも女性の方が小さくなっています。(図表 11-21)

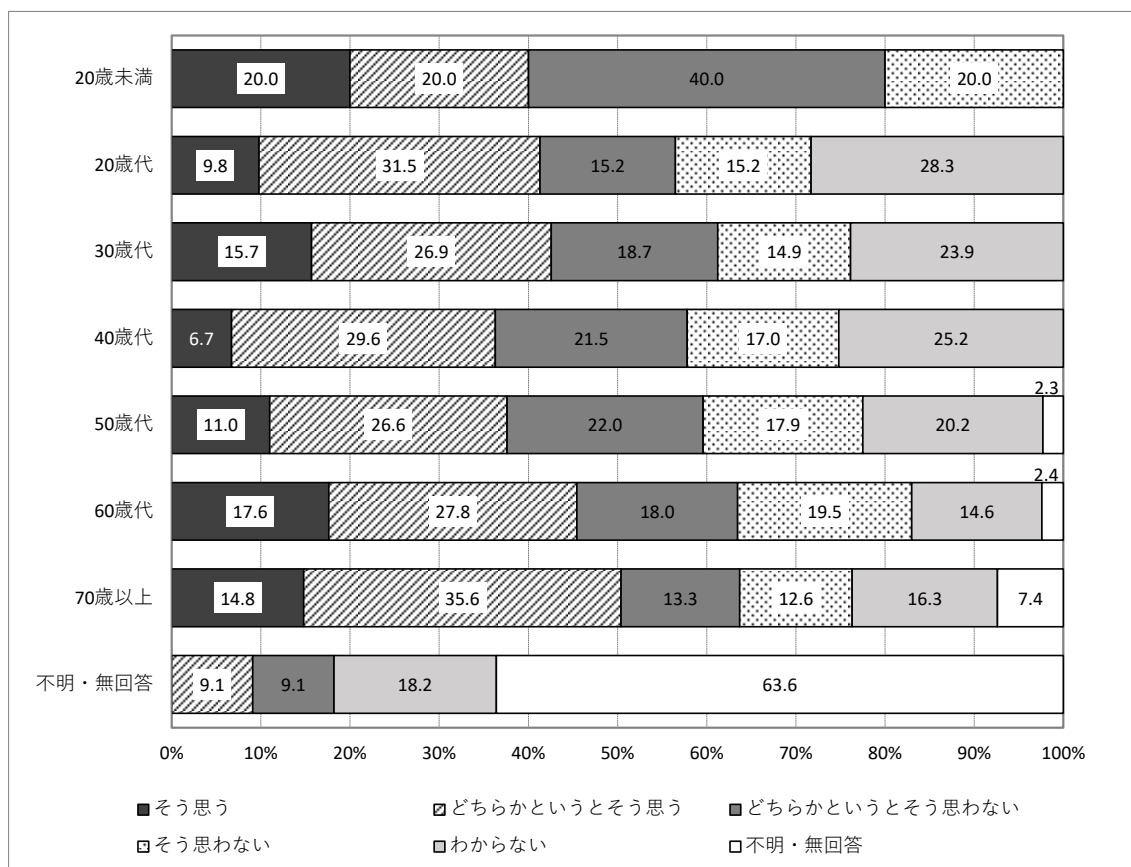
図表 11-21



【年齢によるクロス集計】

70 歳以上では「そう思う」と「どちらかというと思う」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、20 歳代と 40 歳代では「わからない」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表 11—22)

図表 11—22



12 舞鶴市が実施する人権啓発（問 23～問 24）

12 では、舞鶴市が実施している人権啓発事業のうちどのようなものを知っているかを尋ねています。また、人権問題や人権課題の解決に向けてどのようなことを実施するのが効果的だと思うかについても尋ねています。

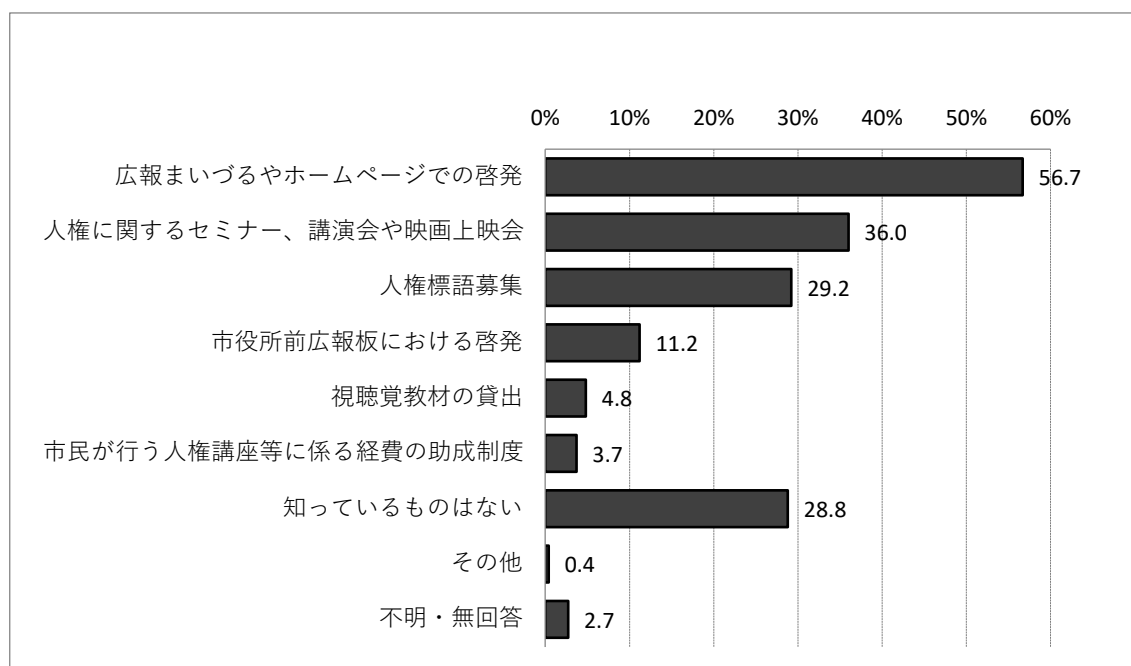
問 23 舞鶴市の人権啓発事業の中で知っているもの

複数回答

クロス集計：性別、年齢、居住歴

「広報まいづるやホームページでの啓発」が 56.7%と最も高く、次いで「人権に関するセミナー、講演会や映画上映会」が 36.0%、「人権標語募集」が 29.2%となっています。（図表 12－1）

図表 12－1



【性別によるクロス集計】

性別に関わらず全体的な傾向は同じです。また、「知っているものはない」は性別に関わらず約4分の1を占めており、男性では上位3項目に入っています。(図表12-2)

図表12-2

上段：度数 下段：%	合計	広報まいつるやホームページでの啓発	人権に関するセミナー、講演会や映画上映会	人権標語募集	市役所前広報板における啓発	視聴覚教材の貸出	市民が行う人権講座等に係る経費の助成制度	知っているものはない	その他	不明・無回答
男性	413 100.0	241 58.4	143 34.6	117 28.3	58 14.0	27 6.5	20 4.8	122 29.5	3 0.7	6 1.5
女性	476 100.0	267 56.1	178 37.4	144 30.3	42 8.8	16 3.4	13 2.7	135 28.4	1 0.2	13 2.7
その他	2 100.0	1 50.0	1 50.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-	-
不明・無回答	9 100.0	1 11.1	2 22.2	1 11.1	1 11.1	-	-	1 11.1	-	5 55.6

(注1) 網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

【年齢によるクロス集計】

若年層から中年層では「知っているものはない」の割合が相対的に高いです。一方、「人権に関するセミナー、講演会や映画上映会」は20歳代を除く全ての年齢で上位3項目に入っています。(図表12-3)

図表12-3

上段：度数 下段：%	合計	広報まいつるやホームページでの啓発	人権に関するセミナー、講演会や映画上映会	人権標語募集	市役所前広報板における啓発	視聴覚教材の貸出	市民が行う人権講座等に係る経費の助成制度	知っているものはない	その他	不明・無回答
20歳未満	15 100.0	6 40.0	2 13.3	2 13.3	-	-	-	8 53.3	-	-
20歳代	92 100.0	36 39.1	18 19.6	31 33.7	10 10.9	1 1.1	-	36 39.1	-	-
30歳代	134 100.0	54 40.3	37 27.6	37 27.6	10 7.5	6 4.5	3 2.2	61 45.5	-	1 0.7
40歳代	135 100.0	75 55.6	47 34.8	32 23.7	8 5.9	2 1.5	5 3.7	41 30.4	1 0.7	1 0.7
50歳代	173 100.0	110 63.6	71 41.0	55 31.8	19 11.0	10 5.8	9 5.2	42 24.3	1 0.6	3 1.7
60歳代	205 100.0	132 64.4	91 44.4	61 29.8	28 13.7	17 8.3	12 5.9	47 22.9	2 1.0	5 2.4
70歳以上	135 100.0	96 71.1	56 41.5	44 32.6	26 19.3	7 5.2	4 3.0	20 14.8	-	9 6.7
不明・無回答	11 100.0	1 9.1	2 18.2	1 9.1	-	-	-	4 36.4	-	5 45.5

(注1) 網掛けは、各年齢における上位3項目を示しています。

【居住歴によるクロス集計】

「20 年以上 30 年未満」と「30 年以上」を除き、「知っているものはない」が上位 3 項目に入っています。(図表 12－4)

図表 12－4

上段：度数 下段：%	合計	広報まいつるやホームページでの啓発	人権に関するセミナー、講演会や映画上映会	人権標語募集	市役所前広報板における啓発	視聴覚教材の貸出	市民が行う人権講座等に係る経費の助成制度	知っているものはない	その他	不明・無回答
1年未満	30 100.0	6 20.0	2 6.7	1 3.3	2 6.7	- -	- -	23 76.7	- -	- -
1年以上5年未満	39 100.0	21 53.8	10 25.6	7 17.9	2 5.1	2 5.1	2 5.1	16 41.0	- -	- -
5年以上10年未満	32 100.0	15 46.9	8 25.0	9 28.1	4 12.5	1 3.1	3 9.4	12 37.5	- -	- -
10年以上20年未満	91 100.0	41 45.1	24 26.4	21 23.1	6 6.6	2 2.2	1 1.1	33 36.3	1 1.1	1 1.1
20年以上30年未満	140 100.0	70 50.0	53 37.9	50 35.7	11 7.9	4 2.9	4 2.9	43 30.7	- -	3 2.1
30年以上	555 100.0	356 64.1	225 40.5	174 31.4	75 13.5	34 6.1	23 4.1	128 23.1	3 0.5	14 2.5
不明・無回答	13 100.0	1 7.7	2 15.4	1 7.7	1 7.7	- -	- -	4 30.8	- -	6 46.2

(注 1) 網掛けは、各居住歴における上位 3 項目を示しています。

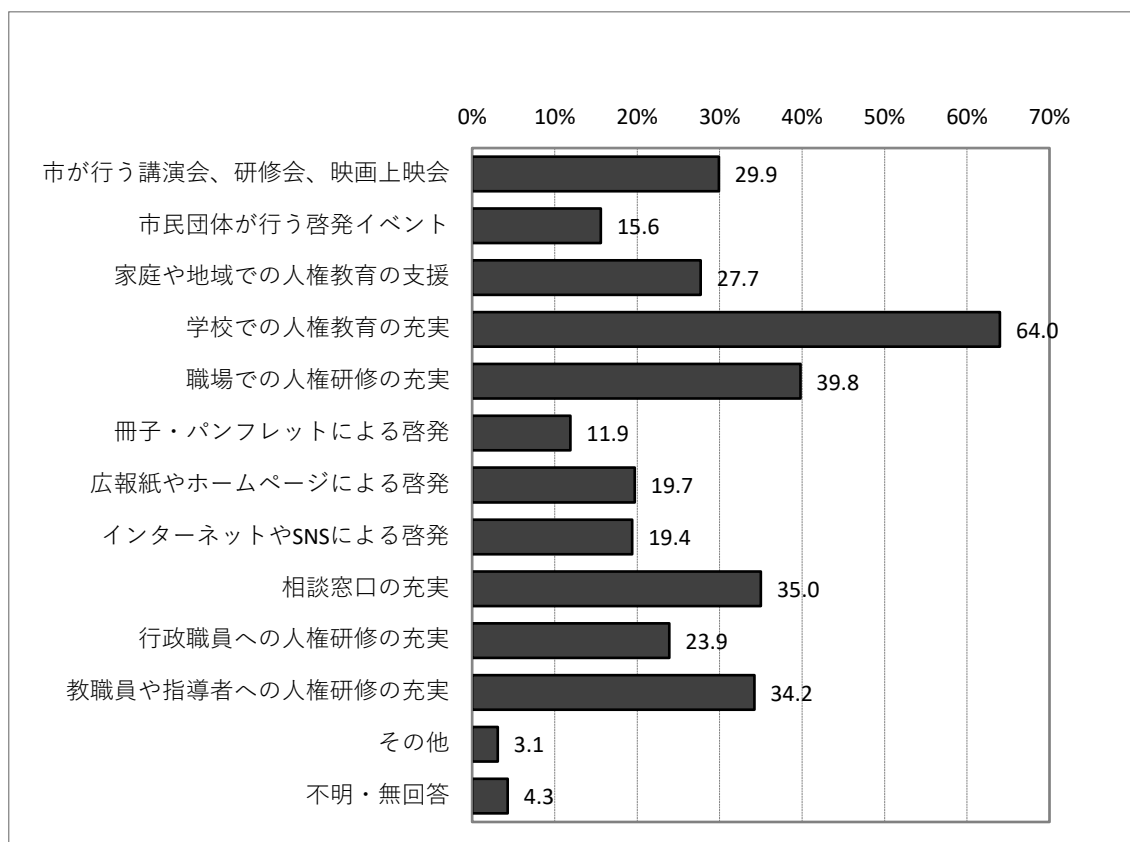
問 24 人権問題や人権課題の解決に向けて効果的だと思うこと

複数回答

クロス集計：性別、年齢

「学校での人権教育の充実」が 64.0%と最も高く、次いで「職場での人権研修の充実」が 39.8%、「相談窓口の充実」が 35.0%となっています。（図表 12— 5）

図表 12— 5



【性別によるクロス集計】

性別に関わらず全体的な傾向は同じです。ただし、「教職員や指導者への人権研修の充実」は、男性では上位3項目に入っていますが、女性では入っていません。(図表12-6)

図表 12-6

上段：度数 下段：％	合計	市が行う講演会、研修会、映画上映会	市民団体が行う啓発イベント	家庭や地域での人権教育の支援	学校での人権教育の充実	職場での人権研修の充実	冊子・パンフレットによる啓発
男性	413 100.0	121 29.3	65 15.7	101 24.5	256 62.0	171 41.4	55 13.3
女性	476 100.0	147 30.9	75 15.8	148 31.1	316 66.4	184 38.7	52 10.9
その他	2 100.0	- -	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -
不明・無回答	9 100.0	1 11.1	- -	- -	3 33.3	2 22.2	- -

上段：度数 下段：％	広報紙やホームページによる啓発	インターネットやSNSによる啓発	相談窓口の充実	行政職員への人権研修の充実	教職員や指導者への人権研修の充実	その他	不明・無回答
男性	84 20.3	83 20.1	131 31.7	107 25.9	138 33.4	17 4.1	15 3.6
女性	92 19.3	91 19.1	182 38.2	107 22.5	169 35.5	8 1.7	19 4.0
その他	- -	1 50.0	- -	- -	1 50.0	1 50.0	- -
不明・無回答	1 11.1	- -	2 22.2	1 11.1	- -	2 22.2	5 55.6

(注1) 網掛けは、各性別における上位3項目を示しています。

【年齢によるクロス集計】

60 歳代と 70 歳以上では「市が行う講演会、研修会、映画上映会」の割合が他の年齢に比べると高いです。また、20 歳代では「教職員や指導者への人権研修の充実」の割合が他の年齢に比べると高いです。(図表 12－7)

図表 12－7

上段：度数 下段：%	合計	市が行う講演会、研修会、映画上映会	市民団体が行う啓発イベント	家庭や地域での人権教育の支援	学校での人権教育の充実	職場での人権研修の充実	冊子・パンフレットによる啓発
20歳未満	15 100.0	5 33.3	2 13.3	6 40.0	9 60.0	7 46.7	3 20.0
20歳代	92 100.0	18 19.6	8 8.7	25 27.2	61 66.3	37 40.2	9 9.8
30歳代	134 100.0	26 19.4	20 14.9	42 31.3	90 67.2	59 44.0	8 6.0
40歳代	135 100.0	40 29.6	23 17.0	31 23.0	88 65.2	60 44.4	15 11.1
50歳代	173 100.0	49 28.3	28 16.2	58 33.5	119 68.8	84 48.6	22 12.7
60歳代	205 100.0	80 39.0	39 19.0	57 27.8	131 63.9	71 34.6	29 14.1
70歳以上	135 100.0	49 36.3	20 14.8	30 22.2	76 56.3	39 28.9	21 15.6
不明・無回答	11 100.0	2 18.2	- -	- -	2 18.2	1 9.1	- -

上段：度数 下段：%	広報紙やホームページによる啓発	インターネットやSNSによる啓発	相談窓口の充実	行政職員への人権研修の充実	教職員や指導者への人権研修の充実	その他	不明・無回答
20歳未満	5 33.3	6 40.0	7 46.7	4 26.7	5 33.3	- -	- -
20歳代	11 12.0	41 44.6	27 29.3	23 25.0	37 40.2	- -	3 3.3
30歳代	21 15.7	42 31.3	45 33.6	22 16.4	43 32.1	6 4.5	5 3.7
40歳代	25 18.5	19 14.1	56 41.5	32 23.7	47 34.8	2 1.5	1 0.7
50歳代	33 19.1	27 15.6	69 39.9	52 30.1	64 37.0	7 4.0	2 1.2
60歳代	47 22.9	26 12.7	66 32.2	46 22.4	66 32.2	6 2.9	9 4.4
70歳以上	34 25.2	14 10.4	44 32.6	35 25.9	46 34.1	4 3.0	14 10.4
不明・無回答	1 9.1	- -	1 9.1	1 9.1	- -	3 27.3	5 45.5

(注 1) 網掛けは、各年齢における上位 3 項目を示しています。

13 市民交流センター（問 25～問 27）

13 では、まず市民交流センターの認知度を尋ねています。次に、市民交流センターを知っている回答者を対象に、利用経験の有無と、機能として知っているものを尋ねています。

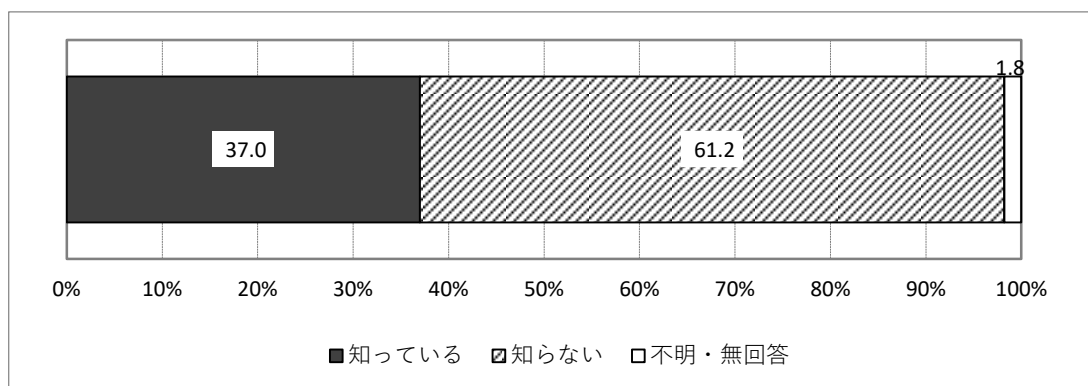
問 25 市民交流センターの認知度

単数回答（N=900）

クロス集計：性別、年齢、居住歴

「知らない」の割合が 61.2%と高いです。また、「知らない」は「知っている」の 1.7 倍となっています。（図表 13－1）

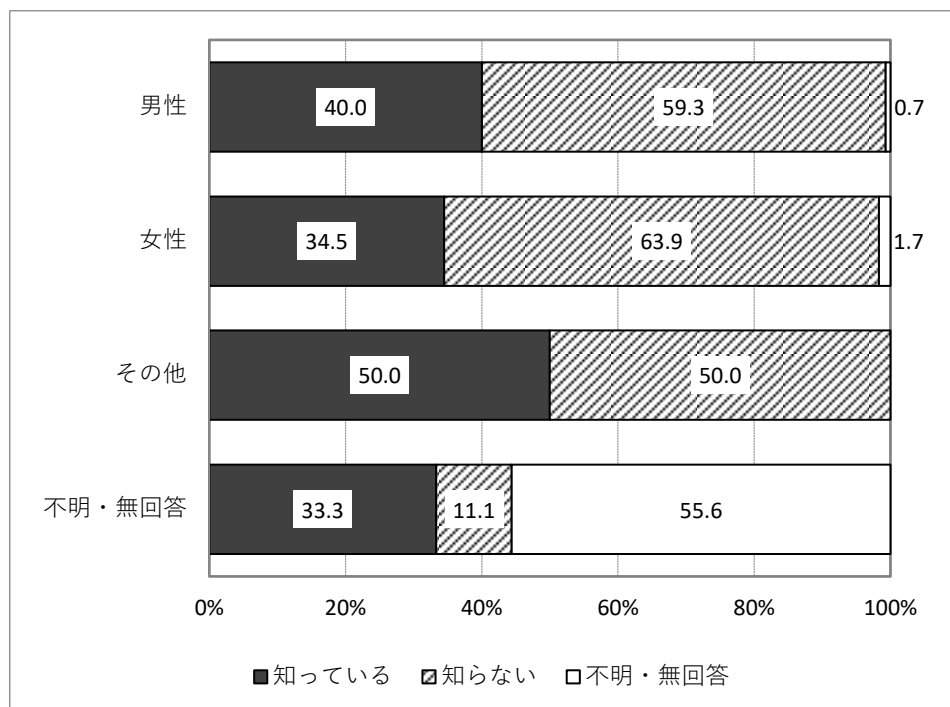
図表 13－1



【性別によるクロス集計】

性別に関わらず「知らない」の割合が高いです。一方、男性よりも女性の方が「知らない」の割合が高く、男性は「知っている」と「知らない」の差が女性よりも小さいです。（図表 13－2）

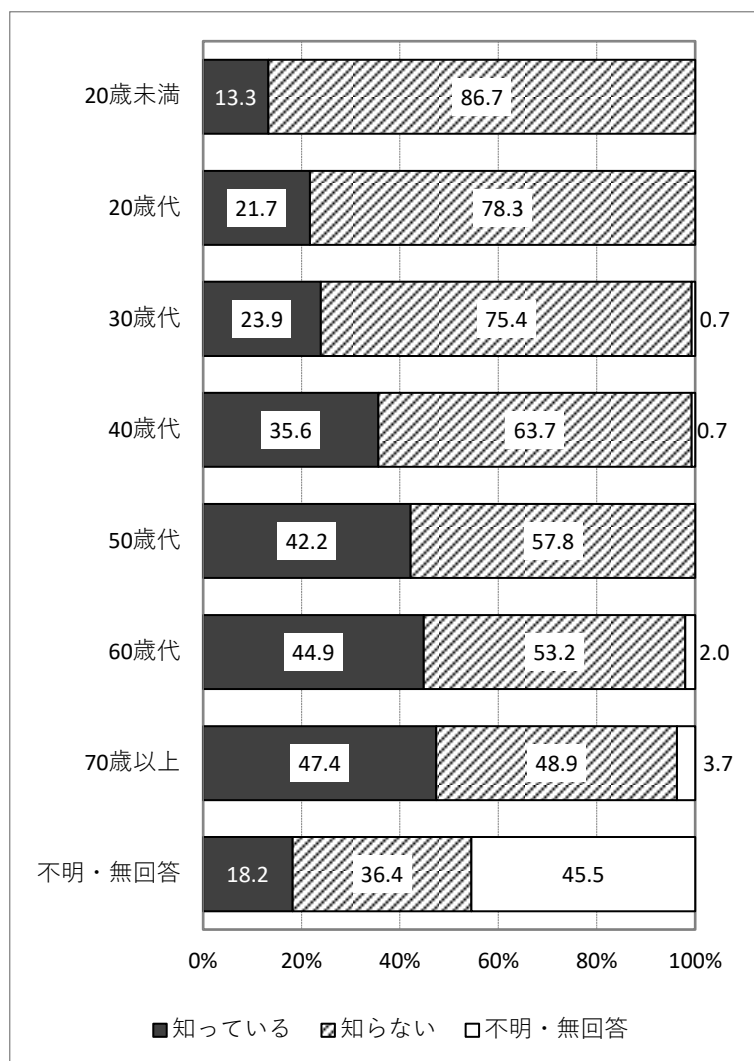
図表 13－2



【年齢によるクロス集計】

60 歳代までは「知らない」が 50.0%以上となっています。一方、70 歳以上では「知っている」と「知らない」の割合が同程度であり、年齢が高くなるほど「知っている」の割合が高いという傾向が見られます。(図表 13－3)

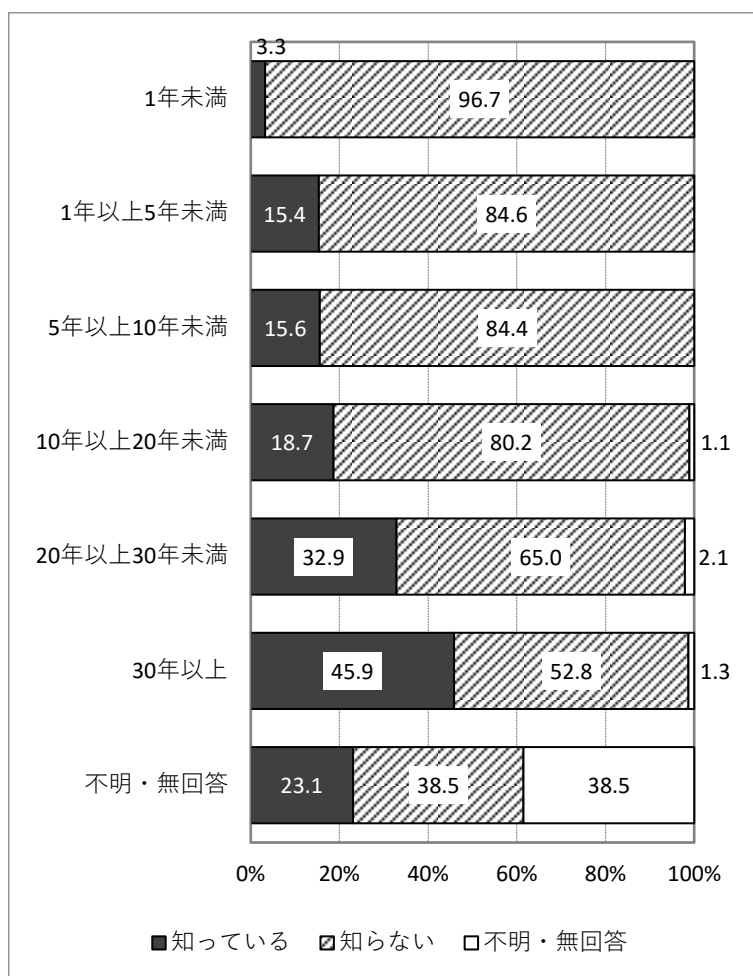
図表 13－3



【居住歴によるクロス集計】

「1年未満」から「20年以上30年未満」までは「知っている」と「知らない」の差が大きく、「知らない」が占める割合の方が高いです。一方、「30年以上」になると「知っている」と「知らない」の差が小さくなり、「知っている」が占める割合が他に比べると高くなっています。（図表 13－4）

図表 13－4



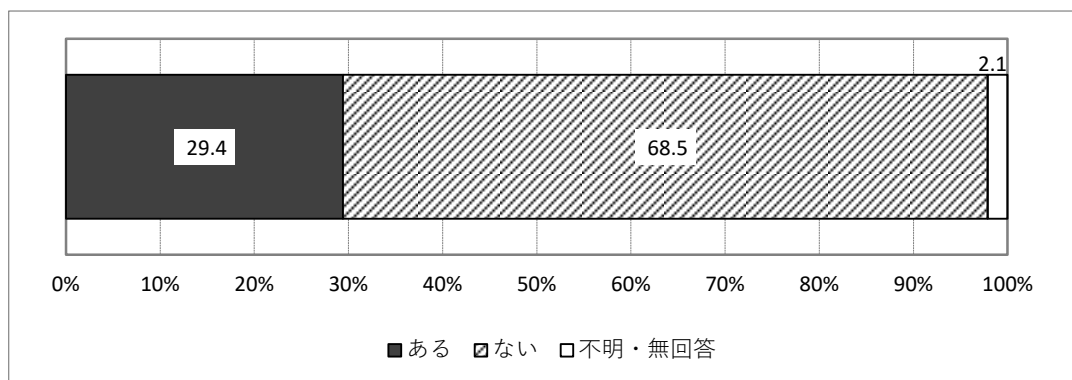
問 26 市民交流センターの利用経験

単数回答 (N=333)

クロス集計：性別、年齢

「ない」が 68.5%と高いです。また、「ない」は「ある」の 2.3 倍となっています。
(図表 13— 5)

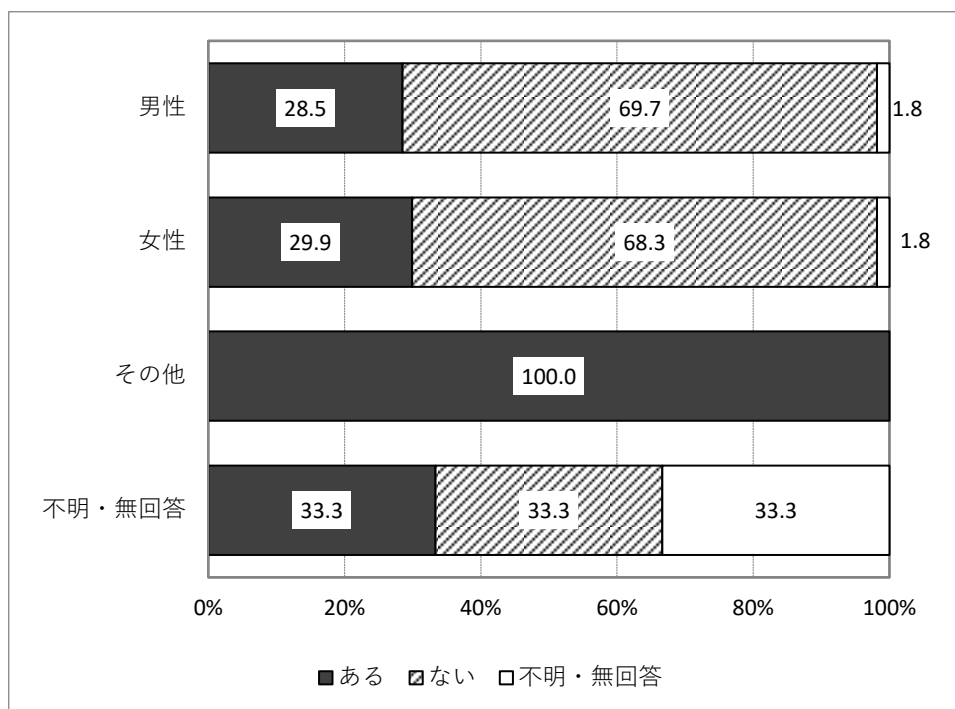
図表 13— 5



【性別によるクロス集計】

性別に関わらず「ない」の割合が60%台後半と高いです。(図表 13— 6)

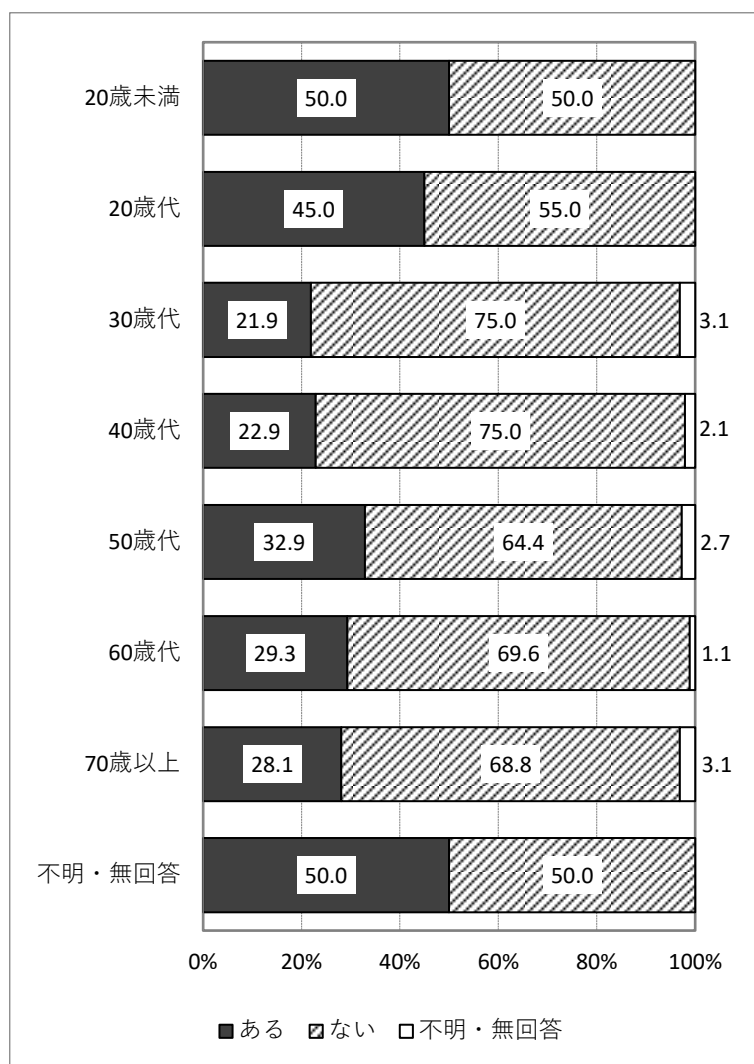
図表 13— 6



【年齢によるクロス集計】

年齢に関わらず「ない」が50.0%以上となっています。知っているかどうかについては、年齢が高くなるほど知っている回答者の割合が高いという傾向が見られましたが、利用したことがあるかどうかについては年齢が高くなっても利用したことがない回答者の割合の方が高いままとされています。(図表 13— 7)

図表 13— 7



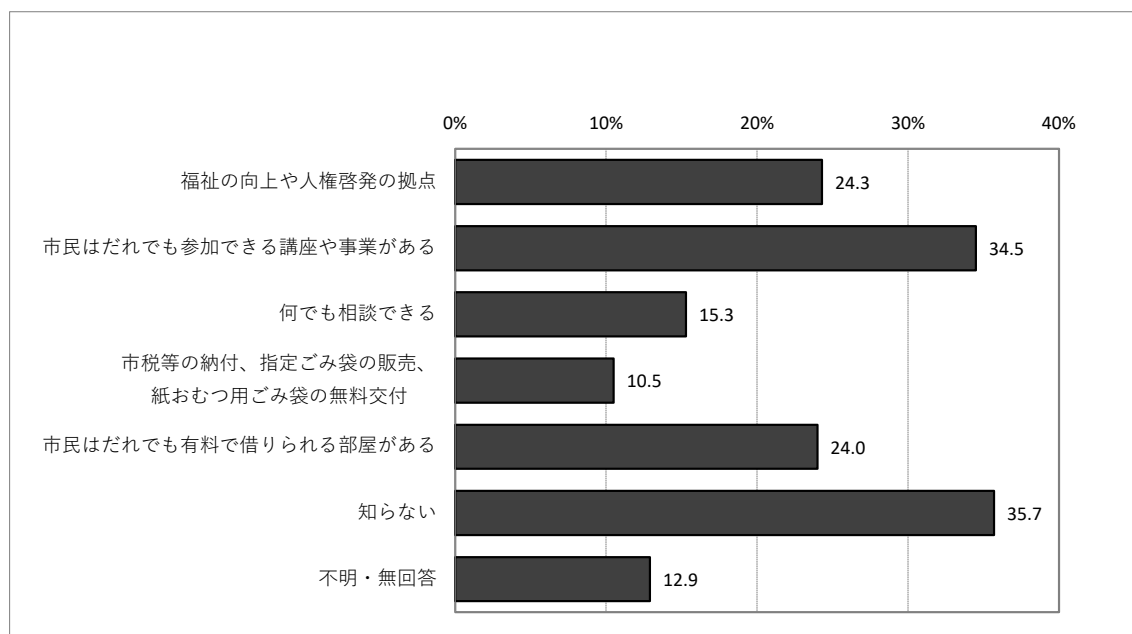
問 27 市民交流センターについて知っていること

複数回答（問 27 の対象者：333）

クロス集計：性別、年齢

「知らない」が 35.7%と最も高いです。「知らない」を除くと、「市民はだれでも参加できる講座や事業がある」が 34.5%と最も高く、次いで「福祉の向上や人権啓発の拠点」が 24.3%、「市民はだれでも有料で借りられる部屋がある」が 24.0%となっています。（図表 13— 8）

図表 13— 8



【性別によるクロス集計】

男性は「知らない」の割合が 40.0%と最も高く、次いで「市民はだれでも参加できる講座や事業がある」が 34.5%、「福祉の向上や人権啓発の拠点」が 30.3%となっています。一方、女性は「市民はだれでも参加できる講座や事業がある」が 33.5%と最も高く、次いで「知らない」が 32.3%、「市民はだれでも有料で借りられる部屋がある」が 22.6%となっています。男性に比べると女性の方が「知らない」の割合は低いですが、女性の上位 2 項目にはほとんど差がなく、全体としては男女ともに「知らない」の割合が高いと言えます。（図表 13— 9）

図表 13— 9

上段：度数 下段：%	合計	福祉の向上 や人権啓発 の拠点	市民はだれ でも参加で きる講座や 事業がある	何でも相談 できる	市税等の納 付、指定ご み袋の販 売、紙おむ つ用ごみ袋 の無料交付	市民はだれ でも有料で 借りられる 部屋がある	知らない	不明・無回 答
男性	165 100.0	50 30.3	57 34.5	31 18.8	16 9.7	41 24.8	66 40.0	15 9.1
女性	164 100.0	30 18.3	55 33.5	20 12.2	18 11.0	37 22.6	53 32.3	27 16.5
その他	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
不明・無回答	3 100.0	1 33.3	2 66.7	- -	1 33.3	2 66.7	- -	1 33.3

（注 1）網掛けは、各性別における上位 3 項目を示しています。

【年齢によるクロス集計】

年齢に関わらず「知らない」が30.0%以上となっています。また、市民交流センターの名称や存在などは知っていても具体的にどのようなことが行われているのかについては知らない人の割合は、年齢が低いほど高くなっています。一方で、「市民はだれでも参加できる講座や事業がある」の割合はどの年齢においても他の選択肢に比べて高い割合となっています。(図表13—10)

図表 13—10

上段：度数 下段：%	合計	福祉の向上 や人権啓発 の拠点	市民はだれ でも参加で きる講座や 事業がある	何でも相談 できる	市税等の納 付、指定ご み袋の販 売、紙おむ つ用ごみ袋 の無料交付	市民はだれ でも有料で 借りられる 部屋がある	知らない	不明・無回 答
全体	333 100.0	81 24.3	115 34.5	51 15.3	35 10.5	80 24.0	119 35.7	43 12.9
20歳未満	2 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	2 100.0	- -
20歳代	20 100.0	5 25.0	8 40.0	4 20.0	1 5.0	5 25.0	6 30.0	1 5.0
30歳代	32 100.0	5 15.6	9 28.1	4 12.5	5 15.6	5 15.6	15 46.9	3 9.4
40歳代	48 100.0	3 6.3	10 20.8	6 12.5	2 4.2	9 18.8	26 54.2	3 6.3
50歳代	73 100.0	22 30.1	31 42.5	11 15.1	9 12.3	21 28.8	20 27.4	7 9.6
60歳代	92 100.0	30 32.6	33 35.9	16 17.4	10 10.9	24 26.1	29 31.5	15 16.3
70歳以上	64 100.0	15 23.4	22 34.4	10 15.6	7 10.9	14 21.9	21 32.8	14 21.9
不明・無回答	2 100.0	1 50.0	2 100.0	- -	1 50.0	2 100.0	- -	- -

(注1) 網掛けは、各年齢における上位3項目を示しています。

14 回答者の属性と舞鶴市の人権施策について思うこと

14 では、回答者の属性と、舞鶴市の人権施策について思うことを尋ねています。回答者の属性については本報告書の調査結果の冒頭で説明しているため、以下では舞鶴市の人権施策について回答者が思っていることについて説明します。

問 31 舞鶴市の人権施策について思うこと

自由記述

舞鶴市の人権施策について思うこととして記述されていた内容を分類すると、図表 14—1 のようになります。最も多いのは、具体的な内容ではなく「特になし」であり、「アンケートに回答して初めて知った・考えた」も多くなっています。それらを除くと、「教育・研修の充実」や「広報・啓発の充実」が多くなっています。

図表 14—1

自由意見の分類	件数（件）
子どものいじめや虐待の防止	8
相談体制の充実	6
固定観念や慣習が根強く残っている	2
生活保護の支給における不平等に関すること	4
新型コロナウイルス感染症による人権侵害の防止が必要	6
同和地区における問題点の指摘	11
教育・研修の充実	14
広報・啓発の充実	15
高齢者の人権が十分に守られていない	2
様々な人が交流する場が必要	3
ひとり一人の意識改革が必要	7
労働者の人権を保護する取り組みが必要	3
行政の対応や姿勢に対する問題の指摘	5
効率的な方法で取り組んでほしい	5
人権施策にもっと力を入れるべきである	5
現在の取り組みで十分である	13
人権問題の解決は難しい	3
アンケートに回答して初めて知った・考えた	15
アンケートへの要望	8
特になし	22
わからない	13
人権とは無関係な記述	9
その他	21